



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ● トピックス

人間ドック紹介／ ドックで何が分かるの？ 検査のすすめ

アサギマダラ(石川県白山麓)

CONTENTS ● もくじ

TOPICS 人間ドック紹介	P.01
ドックで何が分かるの?検査のすすめ	P.02
山田先生の診察室から	P.03
診療コラム	P.04
患者さんのご意見・病院の回答	P.05
管理栄養士のヘルシーレシピ	P.05
病院からのお知らせ掲示板	P.06
まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。



人間ドックのご紹介

健康長寿のために、皆さんの健康づくりにご利用ください

「人間ドック」は、病気を早期発見し、予防や治療へつなげるために非常に有効です。

がんや生活習慣病の多くは自覚症状に乏しく、症状が現れる頃には、かなり進行していることがあります。

当院では、日帰りドック、一泊ドック、脳ドックなどのコースを用意しており、一泊ドックでは、氷見市内の提携民宿に宿泊できる当院ならではの「民宿一泊ドック」がご利用できます。また、スタッフが検査の順路を個別にご案内することで、スムーズに回ることができ、大変ご好評をいただいています。

それぞれにオプションとして、胸部CTによる肺がん検診、内視鏡による大腸がん検診、内臓脂肪測定、頸動脈エコーによる血管検査などを用意しています。

ぜひ人間ドックを受けて、ご自身の健康管理に役立てていただきたいと思います。

当院健康管理センターの特長

1. スムーズなご案内・医師による丁寧な結果説明

スタッフが個別にご案内することで、よりスムーズに回ることができ、受診された方から大変ご好評をいただいています。また、検査終了後は、医師が丁寧に結果を説明します。

2. 専門診療科との連携

精密検査や治療が必要な場合は、速やかに専門診療科へ紹介できます。

3. 「民宿一泊ドック」でリフレッシュ

氷見市内の提携民宿に宿泊できる当院ならではの「民宿一泊ドック」があります。氷見の景色をみながら、夕食をお召し上がりいただけます。日頃の疲れを癒し、心身ともにみなさまの健康管理に役立てていただきたいと思います。

日帰りドック受診の流れ(一例)

① 受診1カ月前

パンフレットや問診票をご自宅へ郵送

② 受診当日(受付など)

- ① 健康管理センターで受付
- ② 身体測定・血圧・視力・採血など
- ③ ②終了後、スタッフが検査へご案内

③ 受診当日(検査)

【日帰りドックの一例】

- ・腹部エコー
- ・眼底/眼圧測定
- ・胸部レントゲン
- ・マンモグラフィ
- ・心電図
- ・肺機能検査
- ・子宮がん検診・胃がん検診(内視鏡)

④ 終了後

- ・検査終了後、当日に医師が結果説明
- ・精密検査が必要な場合は専門科へ紹介

申込み・問合せ先

1F 健康管理センター

☎フリーダイヤル

0800 - 200 - 5134

ドックで何が分かるの？ 各種検査をご紹介します！

身体測定・血液検査

看護師が採血や血圧など身体測定をします。

身体測定や血液検査によって、自分では気づかない体の詳しい状態を知ることができま



す。病気の早期発見や、生活習慣を見直す良い機会となります。

便潜血検査

持参した検便で検査します。陽性(+)の場合、消化管の出血性の病気、大腸ポリープ、大腸がんなどが疑われます。

胸部レントゲン

肺炎、肺結核、肺がん、肺気腫、胸水、気胸など、呼吸器の疾患の有無、病状の程度がわかります。

心電図

心臓の活動の様子をグラフの形に記録することで、不整脈、心筋の血液循環などがわかります。

腹部エコー

肝臓、すい臓、腎臓に腫瘍があるか、胆のうに胆石などがあるかを調べます。



肺機能検査

年齢、性別、身長から算出された予測肺活量に対して、あなたの肺活量が何%であるかを調べます。

眼底検査・眼圧測定

◆**眼底検査**：動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べます。

◆**眼圧測定**：眼球の中は房水という液体によって圧力が保たれており、これを眼圧といいます。眼圧が高い場合は高眼圧症、または緑内障の疑いがあります。

マンモグラフィ

乳房の病変をマンモグラフィで調べます。病変がある場合、良性か悪性かの判断を、カテゴ



リーの1〜5に分類されます。

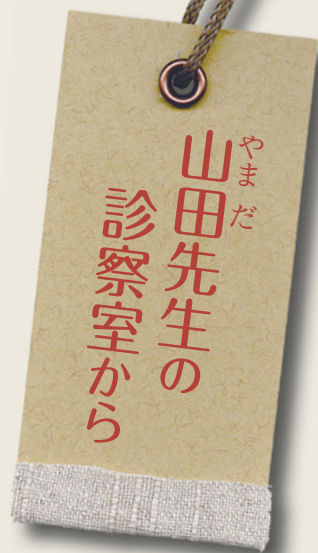
子宮がん検診

細胞診検査により子宮頸がんの早期発見につながります。

胃がん検診(胃内視鏡検査)

食道がん、逆流性食道炎、胃炎、胃潰瘍、胃がん、胃ポリープ、十二指腸潰瘍などの病気がわかります。

参考：日本人間ドック学会(ningen-dock.jp)



呼吸器内科 講師

山田 真也
YAMADA SHINYA

●はじめに

呼吸器内科の山田真也です。今回は当院の発熱外来およびコロナ専用病床についてご紹介します。現在も広い範囲で猛威を振るい、変異を繰り返しながら我々の生活に大きな影響を与え続ける新型コロナウイルス。当院もコロナ重点医療機関として、県および厚生センターと連携し、診療体制や病床調整、スタッフの配置転換など、日々試



行錯誤しております。

●発熱外来について

全国の病院同様、当院でも発熱外来の設置は初めての経験となりました。令和2年2月にメモリアルホールを専用診察室とした発熱外来を開設。その後、救急外来の一部を改修し、救急室内へ発熱外来を移動しました。現在では、病院外のプレハブに成人と小児を分けた2つの発熱外来を設置し診療しています。こちらでは、平日・休日にかかわらず、来院時に発熱がある患者さんには、ほぼ全員に病歴聴取を行い抗原定量検査またはPCR検査を実施しています。

開設当初は、駐車場での診察、スタッフの連携、厚生センターへの発生届など、初めてのことはかりで困難を極めました。最近になり発生届の簡便化、簡易キットの陽性確認をもつての診断が可能となったことから、業務負担は

徐々に減りつつあります。しかし未だ多くの患者さんが受診され、連日感染者が発生している状況です。

●コロナ専用病床について

当院では5階西病棟をコロナ専用病床とし、25床(感染状況により変動)を上限として、軽症〜中等症の患者さんの入院管理を行っています。令和2年6月に病棟の改修工事が完了し、令和3年5月に初めて陽性患者の受入れがありました。入院の対象は、高齢の方および免疫低下作用のある薬を内服されている方、肺炎を合併している方などで、呼吸器内科を中心に内科全体が協力し入院管理を行っています。しかしながら、感染による身体的ダメージに加え、持病の悪化、重複感染、さらには長期間の隔離による精神的負担や日常生活動作レベルの低下などの理由により、入院が長期化するリスクがあるのも事実です。隔離解除後は速やか



(プレハブ診察室内)

に転院や自宅退院、一般病棟への転出ができるよう、市内の協力病院と連携し専用病床が圧迫されないように力を尽くしております。

●おわりに

COVID-19の影響により面会制限や待ち時間の長期化など、患者さんには多大なご不便をおかけしております。全国的には感染状況は落ち着いてきておりますが、当院の発熱外来では連日のように感染者が確認されており、コロナ専用病床も常に稼働している状況です。病院全体が助け合い、一日でも早いコロナの終息を願いながら頑張っていきたいと思っております。



ME部スタッフ

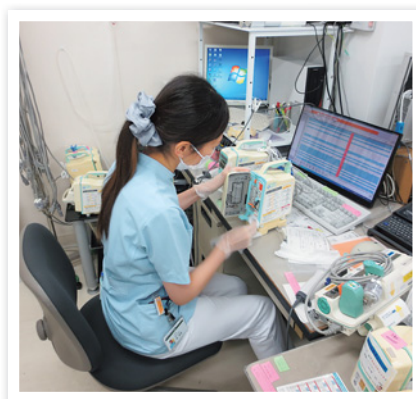
ME部は、院内医療機器の保守管理部門として2008年4月1日に設置されました。現在のスタッフは、ME部長の木南医師と、臨床工学技士5名で、医療機器の中央管理や生体維持管理装置の操作保守点検を行っています。また、院内で汎用される医療機器を中央機器として、保有台数の把握管理に

よる効率的で過不足のない貸出運用を実施しています。

医療機器の適正使用は医療安全上からも極めて重要であり、看護部や医療安全対策部等と緊密に連携し、職種問わず医療スタッフへの研修会を行い、医療機器の適切な使用の推進をしています。

1. 医療機器保守管理業務

輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器等の医療機器の貸出・返



却・点検を行っています。医療機器にはME管理番号を振り、バーコードで管理をしています。病棟等で使用した機器は、ME部に返却され、点検後使用する部署に貸し出されます。返却できないセンサーはME部スタッフが院内巡回し点検を行っています。

腎臓の機能が低下した患者さんは、腎臓の働きを代行する人工透析を行います。この人工透析装置の操作や点検管理や、人工透析で使用される透析液の水質管理も行っています。その他に、血液浄化センターや集中治療室において、持続的血液透析濾過(CHE)やエンドトキシン吸着、腹水濾過濃縮再静注療法(CAR)などの特殊な血液浄化法も行っています。

2. 血液浄化業務

手術室には、麻酔器・電気メス等多くの医療機器が使用されています。これらの機器を使用前点検・定期点検を行うことで、トラブルを未然に防ぎ、安全な手術が行えるよう努めています。また、内視鏡やレーザー機器等の操作及び麻酔管理補助も行っています。

3. 手術室業務

外来でのペースメーカーチエック、在宅での持続陽圧呼吸療法(PAP)患者の治療レポートの提出等を行っています。医療機器の研修会は、院内使用機器にて新人向けと指導者向けに年複数回開催しています。

4. その他

外来でのペースメーカーチエック、在宅での持続陽圧呼吸療法(PAP)患者の治療レポートの提出等を行っています。医療機器の研修会は、院内使用機器にて新人向けと指導者向けに年複数回開催しています。



患者さんの ご意見・病院の回答

当院では、院内に「ご意見箱」を設置し、医療サービスの向上や療養環境の改善を図るために、患者さんからご意見やご要望をお寄せいただいています。

患者さんのご意見

病室でWi-Fiが使いたかったのに使えなくて不便だった。病室にWi-Fi環境が整っていると、とても嬉しいです。よろしくをお願いします。

病院の回答

病室内のインターネット接続環境の改善を求め、ご意見が多いことから、病室のWi-Fi導入について、令和5年度の実施に向けて検討を進めます。なお、各病棟のダイニングには既にWi-Fi環境が整備されており、無料で利用できますので、ぜひご利用ください。

患者さんのご意見

コロナ禍ですが、何の不自由も感じずに快適な入院生活を送ることが出来ました。多方面から支えていただきましたことに深く感謝しています。病棟がワンチームになっていると感じました。本当にありがとうございました。

病院の回答

この度はあたたかなお言葉をいただきありがとうございます。大変励みになります。これからも、患者さんに寄り添った医療を提供できるようスタッフ一同、一層努力してまいります。



いただいたご意見やご要望は該当部署で検討し、改善に努めています。皆さまからのご意見を参考に、よりよい病院づくりをしてまいりますので、お気づきの点がございましたらお聞かせください。ご意見に対する病院の回答の一部を病院ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

管理栄養士の ヘルシーレシピ

つい食べ過ぎてしまう食欲の秋。秋の食材を取り入れたヘルシーなレシピを当院の管理栄養士が紹介します。



野菜のピクルス



〈レシピ〉

- ①(A)を鍋に入れて、砂糖が溶けるまでひと煮立ちさせて冷ましておく。
- ②れんこんは、皮をむき1~2cmのいちょう切りにする。水1Lに対して大さじ1~2の酢を加えたお湯でれんこんをさっと茹でる(シャキシャキ感が残る程度)。ザルにあけ粗熱をとる。しめじは石づきを取り、沸騰したお湯で茹でて冷ましておく。
- ③人参、大根は皮をむき、一口サイズにカットする。塩(分量外)を軽くまぶしてしんなりするまで10分ほどおく。
- ④③を水でさっと洗い水けをしっかりと絞り、①、②、ローリエとともに保存容器に入れて軽く混ぜる。ときどき混ぜながら半日ほどつけておく。

〈材料〉 4~5人分

れんこん	小1節
人参	1本
きゅうり	1本
大根	4cm
しめじ	100g
ローリエ	2~3枚

〈A〉

酢	200cc
砂糖	120g
塩	小1/2

※2人分を作る場合
具材は半量

☆アレンジのポイント☆

他の野菜への変更も可能です。甘みを抑えたい方は砂糖を減らしてください。香りを追加する時は、にんにくやショウガを入れてもいいと思います。

病院からのお知らせ掲示板

● 令和4年度 市民公開講座のご案内

当院の医師が、病気や医療についてわかりやすくお話しし、患者さんや市民の方の健康増進に役立てていただくことを目的に開催します。ぜひご参加ください。

- 日 時 令和4年12月3日(土) 14時00分～16時00分(13時15分受付開始)
- 会 場 氷見市芸術文化館 ホール
- 定 員 250名(氷見市在住の方)
- 受講料 無料
- 申 込 メール・郵送 ※氏名、年齢、住所、電話番号を記載の上、下記までご送付ください
(郵 送)〒935-8531 富山県氷見市鞍川1130番地 金沢医科大学氷見市民病院 総務課 宛
(メール) kh-soumu@kanazawa-med.ac.jp
- 申込〆切 令和4年11月11日(金)

メインテーマ: からだに優しい手術・治療について 座長 副院長 脳神経外科 教授 高田 久

講演① 演題「教えます! 「傷の小さな手術」のホント」

講師 一般・消化器外科 教授 木南 伸一

講演② 演題「よくある泌尿器科疾患の診断と治療」

講師 泌尿器科 助教 尿路結石治療センター長 橘 宏典

講演終了後、質疑応答(10分程度)

【問合せ】総務課 ☎0766-74-1900 (内線2022～2024)

● インフルエンザワクチン接種のご案内

■実施期間 令和4年10月3日(月)～令和5年1月31日(火)(土日祝を除く)

■対象者(氷見市)

- 一 般(高校生～65歳未満) 助成対象外
- 一 般(65歳以上) 助成対象
- 小 児(～小学6年生まで) 助成対象(要予約)
- 小 児(中学生) 助成対象(要予約)

■料 金 ※助成対象者は助成後の金額

- 一 般(高校生～65歳未満) 4,500円
- 一 般(65歳以上) 1,500円
- 小 児(～小学6年生まで) 1回目1,500円(要予約)
2回目 500円(要予約)
- 小 児(中学生) ※1回のみ接種 1,500円(要予約)

■受 付

【一 般】 接種を希望される方は、1F総合受付前の専用受付までお越し下さい。※予約不要
※受診予約日に接種をご希望の場合は、かならず、診察の前に専用受付で受付をお願いします。
整理券番号札がありますので、整理券番号札を取ってお待ちください。

【小 児】 接種を希望される場合は、事前の予約が必要です。お電話にて予約をお願いします。

◆**予約申込:小児科外来受付 ☎0766-74-1900 (内線2100)**

接種当日の受付については、2階J受付までお越し下さい。

来院の際は、保険証と医療費受給資格者証(ピンクのカード)を必ずお持ち下さい。

■問合せ 医事課 ☎0766-74-1900 (内線1023)

● 年末年始休診のお知らせ

令和4年12月29日(木)～令和5年1月3日(火)までの6日間は外来診療を休診します。

緊急の場合や救急患者さんについては、救急外来にて常時対応します。

受診の際は必ず健康保険証をご持参ください。

なお、夜間や休日は救急患者さんの診療を優先的に行っています。そのため、緊急を要しない場合は、できるだけ通常の診療時間内に受診いただくようお願いします。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

まちかど情報

氷見市芸術文化館オープン

氷見市芸術文化館が10月8日に開館しました。開館記念事業としてさまざまなジャンルの公演やイベントが行われています。皆さんの中には、先日開催された、立川志の輔さんによる落語のこけら落とし公演に行かれた方もいらっしゃるかもしれません。今後もさまざまな催しが予定されているようですので、余裕のある方は一度足を運んでみてはいかがでしょうか。芸術文化館の前身は本町にあった氷見市民会館です。個人的には、中学時代に葉師丸ひろ子の『セーラー服と機関銃』の上映会に行ったり、祖母と大衆演劇を観に行ったりと、いろんな思い出があります。市民会館は2014年末に閉館となりましたが、今後は芸術文化館がその代わりを担っていくこととなります。

さまざまな文化に触れる機会や市民の交流の場として、今後、私たちの記憶に残る場所となっていってくれることを期待しています。



表紙について

秋になると、白山麓ではたくさんのアサギマダラが花に集まってくるそうです。長期の渡りをする、「旅する蝶」とも言われ南西諸島や台湾などから海を越えてやってきて、また海を越えて帰っていくと言われています。今はまだ気兼ねなく海外旅行へ行くことが難しい状況ですが、いつかこの蝶のように旅ができたらなと思いました。

編集後記

「秋深き 隣は何を する人ぞ」これは、旅の途中で体調を崩した芭蕉が、ふと隣人を思い詠んだ句と言われています。秋の夜長に、己の身を憂いて人恋しくなったのでしょうか。そう思うと、今も昔も人の心は変わらないものですね。

僕も布団の中でふと、患者さんのことを考えることがあります。これは秋の夜長に限らずです。ですから、病院で患者さんにお会いできるとホッとします。

季節が進むにつれ、だんだんと寒くなってまいりました。皆さんと皆さんの大切な方々がお身体を大切に過ごされますよう祈っております。

かけし秋号編集委員 呼吸器内科 山田 真也

■広報誌「かけし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。